



諏訪湖通信77号

令和6年11月21日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



～諏訪湖の日プロジェクト投稿～太陽工業株式会社 太陽工業×SDGs = 諏訪湖の日【フロッキング】開催

太陽工業株式会社の社員有志でつくられた「Earth Friends Team」は10月14日、チームのメンバーやメンバーの子供たち合わせて12名で、ジョギングやウォーキングとゴミ拾いを組み合わせたスポーツ「プロッキング」を諏訪湖畔で行いました。ヨットハーバーをスタートし、1時間ほど歩いてゴミを回収。約20キロのゴミを集め、ペットボトルや空き缶、プラスチック容器、買い物籠や釣り竿など種類は様々でした。

チームリーダーは「今後は市や市内の企業と協力して行う形にしていきたい。活動の幅を広げることで、住みやすいまちづくりや環境改善につなげたい」と話していました。

また、このチームは、会社戦略からのSDGs活動を推進しており、月に1回のペースで諏訪湖畔や本社工場周辺などで取り組んでいます。2022年からこれまでに拾ったゴミの総量は193キロになり、併せて会社がかかっている「健康経営」にも資する活動で社員の健康づくりにもつながっています。

その他、同グループである株式会社ハイライトと協業で諏訪湖アダプトプログラムへの参画や諏訪カヤック協会様の協力を得てカヤックによるヒシ取りを行うなど今後も活動の幅を広げていきます。



太陽工業「Earth Friends Team」



プロッキングの様子

世界に届け SUWAKOモニュメント (岡谷市)

岡谷市では、10月26日に「SUWAKOモニュメント」の除幕式を岡谷湖畔公園希望の広場で行いました。

諏訪湖周で最も諏訪湖・ハケ岳の景観が良い岡谷市側から諏訪湖を文字と一緒に発信することで諏訪地域の魅力のPRと更なる観光客の誘致を目的に設置しました。デザインは、岡谷市出身の童画家 武井武雄の作品「かたちのうた」から着想を得て制作しました。おもちゃ箱の積み木をひっくり返したような遊び心のある配置となっており、1箇所からのみ「SUWAKO」と読み取ることができます。

本年全線開通した諏訪湖サイクリングロードと来年開通予定の諏訪湖スマートインターチェンジの開通により、諏訪地域へ更に観光客が訪れることが期待

できます。ぜひ訪れた全ての方に諏訪地域の魅力を肌で感じていただき、記念写真をモニュメントの前で撮影しSNS等で発信していただければ幸いです。



岡谷湖畔公園に新設されたモニュメント

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたいくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局：諏訪地域振興局企画振興課 TEL：0266-57-2901

～諏訪湖の日プロジェクト投稿～諏訪湖ハケ岳自転車活用推進協議会 【2024健康サイクリング in 諏訪湖】開催

諏訪湖サイクリングロードの完成を機に、健康づくりをテーマにしたガイドサイクリングを実施しました。ふだん自転車に乗らない方も「健康づくり」を目的に自転車との関りを深めていただき、自転車ならではのスピード感で諏訪湖の魅力を再発見する機会になればと思い、6月～10月に全3回実施しました。

各回ではスタート地点を変えたり、同じ湖周一周でも右回り、左回りをすることで違った雰囲気を楽しめるよう工夫しました。「健康づくり」では、健康運動指導士を招き、10cmのブロックを使った「立ち上がりテスト」を通じて自身の脚力を知り、サイクリングで期待できる効果を学びました。サイクリングはお尻と腕と足で体重を支えることから運動中の膝や腰に係る負担も少なく長時間の運動が可能です。他にもバランス力や、歩くよりも少し速いスピードによる認知力、判断力など様々な効果が期待できます。

近い将来、超高齢化社会にむけて、一人でも多くの方が健康に歳を重ねることが大切です。自転車が移動や環境保全のほか、社会保障にも役立つことを期待し、観光や交通、健康づくりに資する取組を継続して参ります。



「健康づくり講座」の様子



健康サイクリングの様子

～諏訪湖の日プロジェクト投稿～(一社)大昔調査会 「SUWA×文楽2024」 諏訪湖畔公園で開催

10月26日、諏訪圏青年会議所「諏訪圏フォーラム2024」のメインフォーラムとして(一社)大昔調査会が企画実施しました。人形浄瑠璃文楽『本朝廿四孝 奥庭狐火の段』を物語の舞台となる諏訪湖を背景とした屋外舞台上で上演し、350名を超えるお客様にご来場頂きました。

16時30分、義太夫の豊竹芳穂太夫さんが文楽解説で声色の演じ分けを実演。続いて御諏訪太鼓伝承者・山本麻琴さんが勇壮で力強い太鼓演奏を披露。やがて茜が差し始めた湖面を一艘の小舟が渡ってきます。舟上で八剣神社・宮坂清宮司が奏でる篠笛の音色によって雲は払われ、夕焼けが湖上の八重垣姫像を浮かび上がらせます。

17時に本舞台が開演、いよいよ八重垣姫の登場です。背景には「諏訪大明神」の掛け軸と物語の鍵となる「諏訪法性の兜」。八重垣姫は恋しい武田勝頼に窮地を知らせるため兜を手に諏訪大明神が遣わした狐の霊力で凍った諏訪湖を駆け抜けます。クライマックスでは赤衣装から白衣装に早変わりして観客から拍手喝采が。終幕で舞台が暗転し、主遣いの吉田勘彌さん始め人形遣いの皆さんが八重垣姫と狐たちと共にスポットで照らし出され、夢のような幻想的な舞台は終演となりました。



躍動する「八重垣姫」と「白狐」